

なやミキサー

悩みを共有して分かり合う
マッチングサービス

エントリー番号：7 | やわらかマッスル

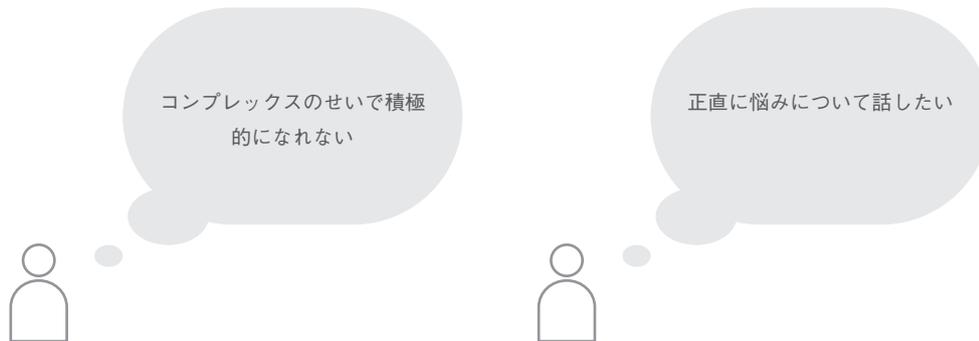
1 要旨

悩みによって一歩踏み出せない人へ

人はそれぞれ悩みやコンプレックスを抱えながら生きています。コンプレックスを抱えた人の中には「悩みを共有できる人がいない」、「抱えている悩みのせいで恋愛に一歩踏み出せない」などと感じている人や、知り合いにもコンプレックスや悩みを打ち明けられず、コミュニケーションの取りづらさを感じている人が多くいるのではないのでしょうか。そこで私たちは、ユーザー同士の悩みを混ぜることで悩みによって生じていた心理的障壁を消すサービス『なやミキサー』を提案します。このサービスは同じ悩みを抱える人々をつなげるマッチングサービスです。『なやミキサー』は悩みによって積極的になれない人や、深い人間関係を築けない人を後押しします。

2 背景

悩みが原因で生まれる心理的な壁を無くしたい



インターネットや SNS の普及により、人々は自身の情報を気軽に発信し、他者の情報を簡単に受け取れるようになりました。このような環境下において、人々は自身のポジティブな一面のみを切り取って発信し、ネガティブな面は心の中にしまったままにする傾向にあります。SNS などによって表面的な人間関係が増加する現在、心の中にしまったコンプレックスや悩みのせいで、より深い人間関係を構築することが出来ない人は多く存在すると考えられます。

このような現状を鑑みて、「悩みにより人間関係に壁を感じている人がより深い人間関係を築く手助けをしたい」という思いで考案されたのが、同じ悩みを持つ人たちを繋げるマッチングアプリ『なやミキサー』です。

3 目的

相手との心理的障壁を取り除く

『なやミキサー』は、同じ悩みを抱えている人同士を繋げることで、「悩みを共有している者同士」という新しい関係性を作る手助けをします。この新しい関係性は、コンプレックスが原因のコミュニケーションに対する心理的障壁を限りなく減らすことができます。『なやミキサー』を通じて得た人間関係からコミュニケーションに対する心理的障壁を減らすこと、最終的には、『なやミキサー』のユーザーがこのアプリを活用することなく、他者と楽しくコミュニケーションをとることができるようになることがこのサービスの目的です。

4 ターゲット

悩みを打ち明けられない人たち

年齢を問わず、コンプレックス（容姿・経歴・属性・その他）が原因でコミュニケーションに対しての心理的障壁を抱えている人をターゲットに設定します。



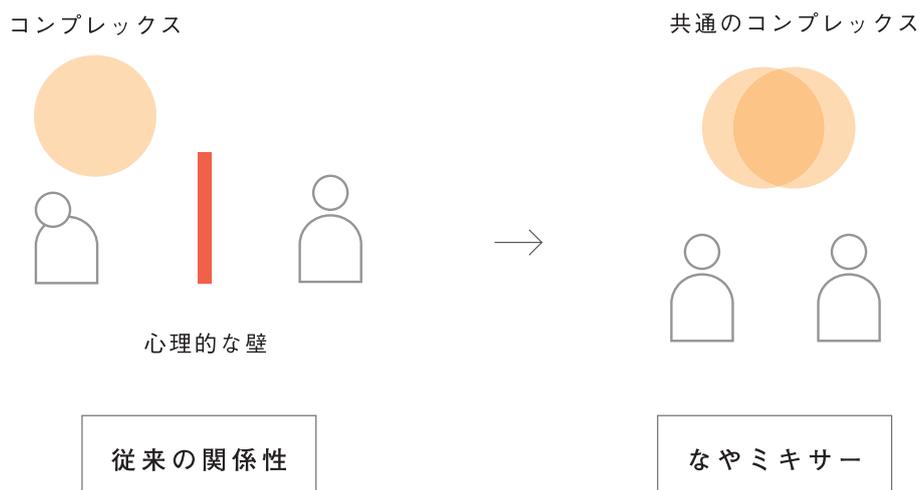
5 提案内容

悩みを共有して一歩踏み出すマッチングサービス



通常のマッチングサービスと同様にプロフィールを登録するだけでなく、自身が抱えている悩みやコンプレックスとどのような関係性を求めるかを登録して、それらを総合して相手を探す全く新しいマッチングサービスです。これまでのマッチングサービスの大半は「自身のポジティブな面をアピールする」ことによってお互いを知り、関係が構築される傾向にありました。良い面で繋がっている関係の場合、相手と悩みを共有していることは少なく、悩みに対してお互いオープンになったり、深く寄り添いあったりすることは容易ではありません。一方、『なやミキサー』では同じ悩みを抱えている人と出会うことによってコンプレックスを隠す必要がなく、お互いに悩みに対してオープンな関係性を築くことができます。また、似た悩みを抱えているため、同じ目線に立って相談しあったりすることができ、ユーザー同士が深い人間関係を築くことができます。

混ぜると消えるソフトウェア

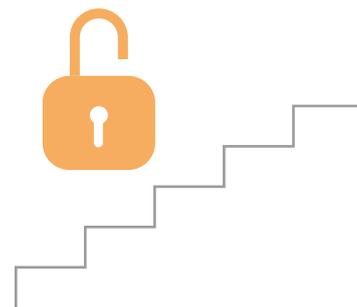


『なやミキサー』を用いて、同じコンプレックスをもった人同士で悩みを共有する（混ぜる）ことによりそれまで抱えていた心理的障壁をなくす（消す）ことができます。このアプリを活用することで、自身と同じ悩みを抱えている人が実際にいることを感じるため、ユーザー自身が悩みを受け入れるきっかけを作る効果や、カウンセリングなどでは得られない悩みとの向き合い方を見つける効果が期待できます。

6 機能

段階的に情報解禁できるシステム

初めの段階から個人情報が提示されていると情報が拡散される危険性もあるため、情報は段階的に提示します。相手が信頼できる、相談できると思ったタイミングでユーザーは認証の得られた個人情報に相手に開示することができます。



アンケート

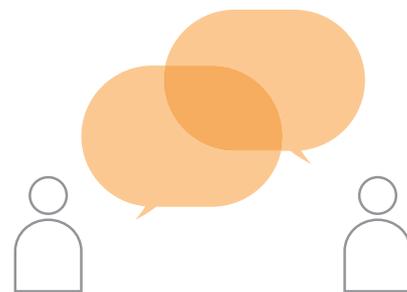
悩みに対するアンケートを定期的に答えてもらうことで、アプリ側から紹介されるユーザーの数が増えます。また、質問に答えていくほど、抱えている悩みやコミュニケーションへの壁の感じ方が似ている人をアプリが紹介してくれるようになります。

さらに、アンケートを答えることにより、自分の悩みやコンプレックスを客観的に見直したり、考えたりする機会になります。



オープンスペース

マッチングをして実際に会うことに抵抗がある人はオープンスペースの利用も可能です。オープンスペースではユーザーが匿名で悩みやコンプレックスについての相談や書き込みをすることができます。匿名であることは相談や、書き込みをする心理的負担を軽減します。もちろん、名前を公開して書き込みもできます。不特定多数が参加することのできるインターネット掲示板などとは違い、『なやミキサー』という認証されたユーザーのみが書き込みできるコミュニティの中での発信が可能です。

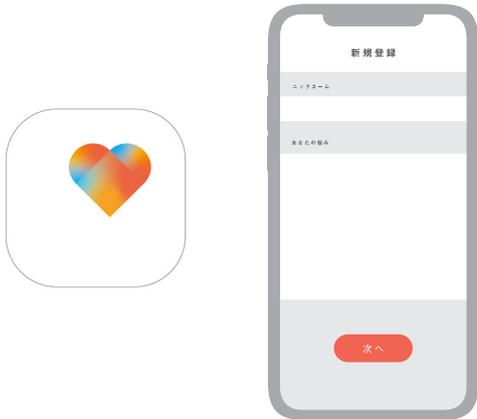


アポイントメントセッティング

初めて会う場所や日時をおすすめしてくれます。悩みによって、あまり積極的になれないユーザー同士が出会うまでのプロセスをサポートします。ユーザーは待ち合わせ場所をおすすめ一覧から選択することができます。初めて会う場所に相応しい場所（混雑しすぎない場所や、落ち着いた場所など）をユーザーに合わせておすすめしてくれます。

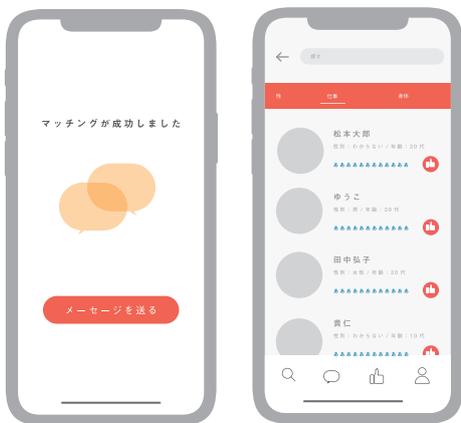


7 利用の流れ



悩みを登録する

初めに、プロフィール（名前 年齢 居住地 所属 性別など）を登録します。次に、悩みを項目の中から選択します。詳細についても詳しく書き込むことができます。自身が登録した悩みは「悩みの種」と表記され、自身のプロフィールにタグとして表示させることが出来ます。また、既存の種にない悩みは新たに自身で作成することが出来ます。



話してみたい人を探す

AI があなたと同じ悩みを抱えている人を判断し、ホーム画面に表示します。また、同じ境遇の人を検索機能から条件を絞って探すこともできます。さらに、ユーザーは自身が話してみたい、会ってみたいと感じた人に「話したい」ボタンを押すことができます。相手から「話したい」が返ってくるとマッチングが成立し、チャットや通話ができるようになります。

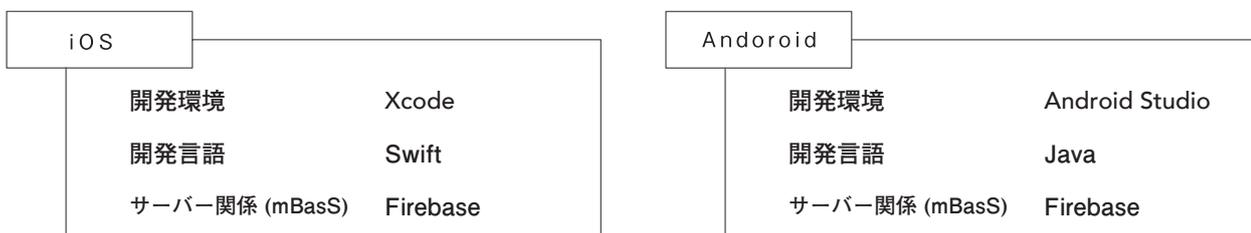


実際に会う

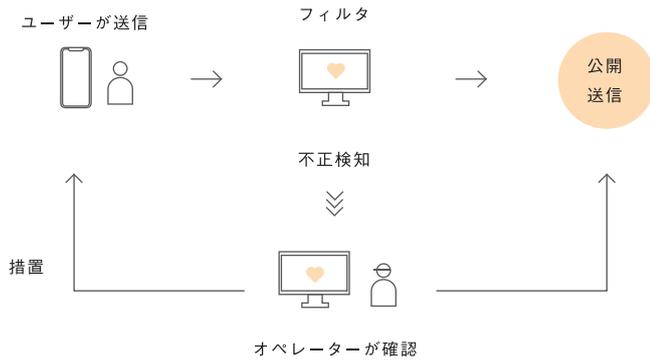
なやミキサーは実際に会うことで成立します。悩みやコンプレックスを共有しているからこそ打ち解けやすく、深く込み入った話までしやすくなります。お互いの悩みへの向き合い方なども、気兼ねなく話すことができます。実際に会って話すことによって、より前向きになれたり、自分に向き合うことにも繋がります。

8 システム構成

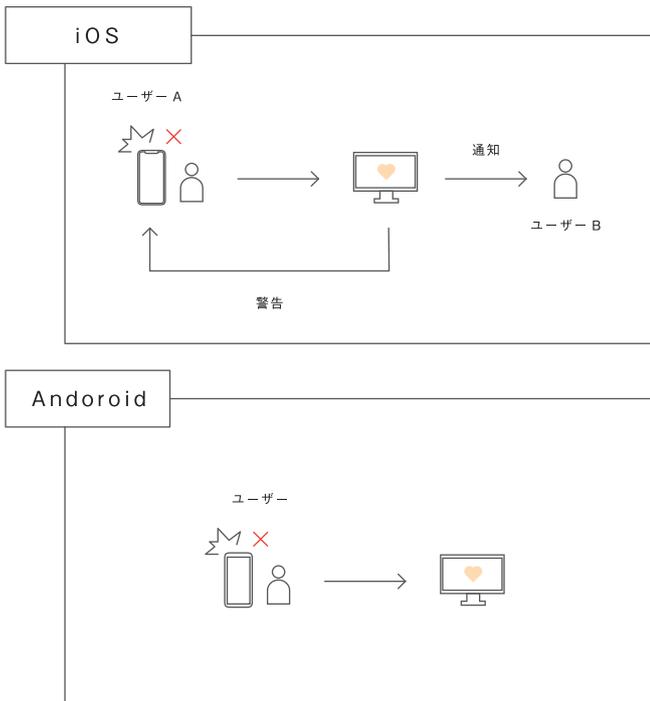
開発環境



プライバシーを考慮したシステム



機械学習技術を用いて乱暴な発言や不適切な発言をしたユーザーには退会措置などを講じます。さらに、なりすましなどの悪質な行為に対してもAIを持ちた判別モデルを用いてフィルタリングを行います。また、AIにより不正が検知された場合はアプリ運営側が手動で判断し、適切な措置をとります。



アプリから第三者へコンプレックスが流出することがないように、iOS版、Android版の双方にアプリ画面のスクリーンショット防止機能を付属しています。iOS版はScreenShield kitと呼ばれるシステムを用いて、スクリーンショットを撮られてもその画像に画面の内容が映り込まない仕様になっています。

Android版はLayoutを用いた開発を想定しています。製作段階で全てのActivityにスクリーンショットを無効化するコードを組み込むことで、スクリーンショットを取る試み自体を防止できます。

9 今後の展開

より悩みを打ち明けやすい環境を作る

今後の発展として、『なやミキサー』のユーザー数が増加することで、悩みを共有したり解決したりするためのオンラインコミュニティのような役割も担えるのではないかと考えています。現在あるインターネット掲示板とは違い、実際にアカウントを登録した人達によるコミュニティが形成されるため、より安心して活用できるコミュニティになるのではないかと考えます。

また、『なやミキサー』を活用することで、ユーザーは自身の悩みを受容するきっかけを作ることができます。心理的にオープンな関係性を保つことで、自分に向き合い正直になることもできるのではないのでしょうか。そのようなマインドセットを通して、自分を信じて共通の悩みを抱える人だけでなく周囲の人とも自信を持ったコミュニケーションを取れるようになるのではないかと期待しています。